

THE JOURNAL
OF
COMMUNICATION STUDIES

ISSN 1340-587X

No. 27

December 2007

CONTENTS

Articles

Advertising by Night:
The Relationship between a Frâneur and a Couch Potato Hidehiko SEKIZAWA... 3

Placement by Proficiency Level: A Case Study Tsuguro NAKAMURA... 33
Taira UCHIDA
Peter ROSS

Communications of "Shyness" in Dance:
Body Presentation of "I" in Club Umi SATO... 51

Note

The Network Society and its American Tradition of Free Jun WATANABE... 73
Itaru YOSHIDA

Critical Essay

A Way to Reconciliation between Japan and China Ryuji HAYASHI... 97

Information

List of Thesis / Dissertations (Doctoral Degree and Master's Degree) 119

Published by
TOKYO KEIZAI UNIVERSITY
ASSOCIATION FOR COMMUNICATION STUDIES
Kokubunji-shi, Tokyo

コミュニケーション
科学 2007 NO. 27

コミュニケーション
科学

二十七号

二〇〇七年
十二月

論文

夜の広告 — 遊歩者とカウチポテトの関係 — 関 沢 英 彦

Placement by Proficiency Level: A Case Study 中 村 嗣 郎
内 田 平
ピーター・ロス

踊り場における「恥じらい」のコミュニケーション
— クラブでのダンスにおける「私」の身体提示 — 佐 藤 生 実

研究ノート

ネット社会と自由の伝統
— 全体像のラフなスケッチ — 渡 辺 潤 達
吉 田 達

評論

「日中和解」に向けた一考察 林 龍 二

報告

博士学位論文・修士学位論文一覧(2006年度)

東京経済大学 コミュニケーション学会

東京経済大学コミュニケーション学会会則

- 第1条 本会は東京経済大学コミュニケーション学会という。
本会の事務局は、東京経済大学コミュニケーション学部に置く。
- 第2条 本会はコミュニケーションの研究の進展およびその普及を目的とする。
- 第3条 本会は、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。
①機関誌『コミュニケーション科学』の発行及び普及
②研究会及び講演会の随時開催
③その他
- 第4条 本会の会員は次の者とする。
①東京経済大学コミュニケーション学部の専任教員
②東京経済大学の教員で入会を希望する者
③東京経済大学コミュニケーション学部の専任教員を退職した者
- 第5条 1 本会に次の役員を置く。
①会長
会長は会を代表する。
②理事
理事は会の運営にあたる。ただし、理事の人選については別に定める。
2 役員の内任期は1年とする。ただし再任はこれを防げない。
- 第6条 本会の会員は、第3条に定める目的を達成するために、会の運営に協力する。
- 第7条 本会の会費については別に定める。
- 第8条 本会則の改正及び変更は会員総会の決議による。

執筆者紹介(掲載順)

関 沢 英 彦	本学コミュニケーション学部教授
中 村 嗣 郎	本学コミュニケーション学部准教授
内 田 平	本学コミュニケーション学部教授
ピーター・ロス	本学コミュニケーション学部准教授
佐 藤 生 実	本学大学院コミュニケーション学研究科 博士後期課程在学
渡 辺 潤	本学コミュニケーション学部教授
吉 田 達	本学メディア工房スタッフ
林 龍 二	本学コミュニケーション学部教授

コミュニケーション科学 第27号 (非売品)

発 行 2007年12月19日

編 集 者 川 井 良 介

編 集 東京経済大学コミュニケーション学会
発 行 人 コミュニケーション科学編集委員会
〒185-8502 東京都国分寺市南町1-7-34
電話 042-328-7743 (直通)
FAX 042-328-7772

印刷・製本 株式会社 精興社
〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-9
電話 03-3293-3021 (直通)

送付に関するお問い合わせ先

本学では、「紀要」交換業務は、図書館が行なっております。

東京経済大学図書館・「紀要」担当

〒185-8502 東京都国分寺市南町1-7-34
電話 042-328-7763 (直通) FAX 042-328-7777

コミュニケーション科学

第27号 2007年12月

目 次

論 文

夜の広告 ——遊歩者とカウチポテトの関係——……………関 沢 英 彦… 3

Placement by Proficiency Level: A Case Study……………中 村 嗣 郎… 33
内 田 平
ピーター・ロス

踊り場における「恥じらい」のコミュニケーション
——クラブでのダンスにおける「私」の身体提示——……………佐 藤 生 実… 51

研究ノート

ネット社会と自由の伝統
——全体像のラフなスケッチ——……………渡 辺 潤… 73
吉 田 達

評 論

「日中和解」に向けた一考察 ……………林 龍 二… 97

報 告

博士学位論文・修士学位論文一覧（2006年度）……………119

コミュニケーション学研究科 博士学位論文一覧

2006 年度

氏 名	論 文 題 名	指導教員
森 一道	“香港発信の中国情報”に関する研究 —『香港情報』の成立・現状・展望—	田村紀雄
植村 八潮	電子出版研究 —デジタル読書と読書装置の形成過程—	川井良介
加藤 裕康	ゲームセンターにおけるコミュニケーション空間の形成とその社会的意味	渡辺 潤

コミュニケーション学研究科 修士学位論文一覧

2006 年度

氏 名	論 文 題 名	指導教員
刘 慧	企業 PR におけるトップ経営者の役割に関する一考察 —企業経営改革を中心に—	駒橋恵子
東 福 宣 介	コンピュータコミュニケーションにおけるアバターの社会心理的機能 —自己過程と対人過程の観点から—	川浦康至
武田和彦	「アイドル論」再考 —「アイドル」像の成立過程をめぐって—	渡辺 潤
田 碩	中国におけるテレビニュース番組の一考察 —中央テレビ局 (CCTV) 1チャンネルのニュース番組について—	川井良介
永塚由紀子	社内コミュニケーションにおけるミドルマネジャーの役割 —IKEA 社を事例として—	駒橋恵子
浅野智美	連続ドラマを争点とするインターネット上のコミュニケーション —「女王の教室」に関する電子掲示板の内容分析—	川浦康至
沈 映 佑	韓国の雑誌の一考察	川井良介
浜田幸絵	戦前日本における社会的熱狂の対象としての『オリピック』の形成過程	有山輝雄
雪野まり	『暮らしの手帖』がめざしたもの —花森安治の雑誌作りの美学と『暮らしの手帖』—	有山輝雄

『コミュニケーション科学』投稿規程

2002年12月 改訂

1. 投稿資格 本会の会員および研究・教育機関に所属する研究者（大学院生を含む）またはそれに準ずる経歴を持つ方は投稿資格を持ちます。広く「コミュニケーション科学」に関する研究成果の投稿を歓迎します。
2. 原稿枚数 原稿枚数は原則として次の通りとします。
 - 論文 : 400字詰原稿用紙80枚（注及び図・表などを含む）以内
（欧文の場合、A4版ダブルスペース1行60—70字、28行—32枚以内）。
 - 研究ノート：同じく60枚以内（欧文、同じく24枚以内）。
 - 資料 : コメントを含む。同じく30枚以内（欧文、同じく24枚以内）。
 - 翻訳 : コメントを含む。同じく30枚以内（欧文、同じく24枚以内）。
 - 書評 : 同じく15枚前後（欧文、同じく6枚前後）。
 - 評論・報告：同じく60枚以内（欧文、同じく24枚以内）。

なお、原稿には必ず「欧文タイトル」と「欧文氏名」をつけ、所定の執筆申込み用紙に他の必要事項とともに記入し、原稿と一緒に提出して下さい。外部からの投稿の場合には、事前に執筆申込み用紙をお取り寄せ下さい。
3. コミュニケーション科学付属CD-ROMへの投稿 コミュニケーション科学付属CD-ROMへ投稿する場合には、容量や動作環境の問題がありますので、あらかじめ編集委員会までご連絡下さい。また、付属CD-ROMのある号の発行時期との関係で、掲載が多少遅れる場合があります。
4. 投稿形式 原稿は原則としてワープロ、パソコンでプリントアウトしたものとし、フロッピー・ディスクを添付して下さい。なるべくMS-DOSのテキストファイルで提出して下さい。なお、カラー印刷など、特別な処理を必要とする場合には必要経費をご負担いただくことがあります。
5. 審査 投稿、依頼を問わず、寄稿された原稿（コミュニケーション科学付属CD-ROMも含む）を掲載するか否かは、編集委員会で審査の上決定します。査読に要する時間の関係で、掲載が多少遅れる場合もあります。
6. 校正 校正は著者校正を原則とします。審査制度を設けている関係で、掲載決定後の校正段階での誤植以外での修正は原則として認めません。校正段階での大幅な加筆のあった場合、掲載延期または掲載取消とし、組み替えなどによる必要経費はご負担いただくことになります。
7. 原稿送付先および問い合わせ先は、次の通りです。

〒185-8502 国分寺市南町1-7-34 東京経済大学コミュニケーション学部
東京経済大学コミュニケーション学会
コミュニケーション科学編集委員会
電話 042(328)7743 FAX 042(328)7772